

〈学校教育目標〉
よく学び、たくましく生きる心豊かな児童の育成
「元気な子 考える子 やさしい子」

総社市立維新小学校
令和2年7月21日
第35号

「五つ星学園在り方検討委員会」を開催

今年度から五つ星学園地域連携・運営協議会の小委員会として、五つ星学園在り方検討委員会が発足しました。この会の趣旨は、園児児童生徒が減少する中で今後の五つ星学園をどのように運営していくのか、その在り方を検討していくことです。

P T A会長や公民館長、地域づくり協議会長、婦人会会長、保護司、それに五つ星学園校長、教頭に加え、総社市教育委員会代表など、約二十数人の委員で構成されています。

第1回目の会は、7月17日の午後、昭和中学校で開催されました。会の前半では、次のような内容の説明がありました。

- 五つ星学園在り方検討委員会の趣旨
- 7月3日に開催された第1回地域連携・学校運営協議会の協議内容の報告
- 他地域の義務教育学校の先行事例
- 今後の園児児童生徒数の推計と減少に伴うメリット・デメリット
- 保護者、地域住民の方を対象とする五つ星学園の在り方に関する意識調査

会の後半は全体を2グループに分けてのグループ協議を行いました。協議題は次の通りです。

- ① 義務教育学校と幼稚園の在り方・場所
- ② 義務教育学校化しない場合の少子化対策
- ③ 五つ星学園の在り方に関する、保護者・住民調査の実施内容・方法・時期
- ④ 保護者及び地域住民向け説明会の必要性と開催方法・時期 等

約50分のグループ協議でしたが、積極的な意見交換ができ、有意義な協議となりました。その結果、次回までに準備しておかなければならない内容や今後の論点の整理ができ、第1回目の会を終了しました。



暑さ指数31を越え、体育館を開放！

暑さ指数計を毎日外に出して数値を気に掛けているのは、養護教諭の先生です。20日は朝から蒸し暑く、暑さ指数が31を超えてしまいました。そこで外遊びを禁止し、その代わりに、体育館を開放しました。体育館と言えど、指数は27～29くらい。窓を開け、扇風機を動かして、水筒持参を条件に開放。業間休みも昼休みも10人前後の児童が、ドッジボールをしたりバランスボールで遊んだりして汗を流していました。

3・4年生はドッジボールをしていました。事務の先生も仲間に入っています。



昼休みにALTの先生も登場。バランスボールで一緒に遊んでくださいました。

毎日、暑さ指数計とにらめっこの養護の先生。この時の体育館内の気温は33度でした。



